児童に見られるつまずき

　自分の考えを明確にしながら、調べたことをまとめることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　事柄ごとに色分けした穴埋め形式のワークシートを用いることで、事柄ごとに内容を整理したり、事柄ごとの書き方を意識したりできるようにする

指導事例集ｐ．５９

１　学年・単元名　　第１学年　のりものかるたをつくろう

『いろいろなふね』（書くこと）

２　単元目標

　　　書かれている内容を事柄ごとに読み取り、わかったことや調べたことをまとめ、のりものかるたを作る。

３　単元の内容

　　・読み取ったり調べたりしたことを、事柄ごとにまとめてのりものかるたに書くという単元の見通しを持つ。

資料：教師作成言語活動のモデル

　　・書かれている内容を事柄（役目・つくり・できること）ごとに読み取り、大事な言葉を探して文章にまとめる。

資料：ワークシート

記入済みワークシート①②

資料：児童の成果物

　　・「のりものかるた」を作り、交流し振り返る。

４　本時の目標

　　「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取ることができる。

参考：板書

５　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導・支援の留意点と評価（☆）  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １．本時の課題を確認し、音読する。  「しょうぼうてい」の　『のりものかるた』をつくろう  ２．「しょうぼうてい」の 「やく目」「つくり」「できること」を読み取る。  「やく目」  ふねの火じをけす。  「つくり」  　　　　　ポンプやホースをつんでいる。  「できること」  　　　　　水やくすりをかけて、火をけす。  ３．「しょうぼうてい」の、『のりものかるた』を書き、交流する。  ４．本時の学習を振り返る。 | **・前時までの読み取りの学習を生かし、「やく目」「つくり」「できること」が書かれている部分を見つけて線を引き、事柄ごとに色分けした穴埋め形式のワークシートに書きながら読み取らせる。**  ワークシート使用  記入済みワークシート①参照  ・「しょうぼうてい」は火事を消す「やく目」のために、ポンプやホースといった「つくり」があることを板書で整理しておさえる。  ・「しょうぼうてい」の拡大写真を提示し、つくりを具体的にイメージさせる。  **・「しょうぼうてい」について学習した「やく目」「つくり」「できること」を意識して書かせる。**  ・２つの文が書けるように支援し、書きにくい児童には、大事な言葉や文を確認させる。  記入済みワークシート②参照  ・補助資料を提示し、見た経験のない「しょうぼうてい」について、イメージしやすいようにする。  ・早くできた児童はペアで発表し合い、その後全体で指名して数名発表させる。  ☆消防艇の役目、つくり、できることについて、大事な言葉を見つけながら読み取っている。  （Ｃ読む（１）エ：ワークシート、発言）  ・次時は、自分が選んだ乗り物について、『のりものかるた』を作ることを知らせ、意欲を持たせる。 |

６　つまずきの解消に向けて

（１）単元における予想されるつまずき

①本単元内のつまずき

　　　・いろいろなふねについて、事柄ごとに正しく読み取ること。

　　　・いろいろなふねの『のりものかるた』を、「やく目」「つくり」「できること」を意識してまとめて書くこと。

　　　・自分で選んだ乗り物の特徴を『のりものかるた』に、わかりやすく書くこと。

　 ②これまでのつまずき

　　　・自分の考えを明確に書くこと。

　　　・読み返す習慣を身につけること

（２）つまずき解消に向けた指導上の留意点

　　　・ワークシートに教科書の写真を入れ、マス目を使った穴埋め形式にすることで、書く内容を明確にする。

　　　・いろいろなふねをイメージしやすいように、写真や動画を見せる。

・乗り物を自分で選べるように、教室に乗り物の本や図鑑を置いて、興味・関心を持たせる。

・のりものかるたが書けたら、友だちと見合うことで、読み返す機会を与える。